

資本主義の矛盾を乗り越えようとする多くの動きも見えてきた

【逆境の資本主義】より

知徳国家のリーダーシップ

本物のリーダーたちは、どのように考え、行動し、責任を取ったか。国際関係の複雑化、経済の低迷、政治の混乱、新型コロナウイルス禍――国家的危機に直面したいまこそ、問われるリーダーのあり方。明治の近代国家建設と戦後復興をリードした政治家・経済人たちを取り上げ、2人の論客が緊急対談。

東京大学名誉教授 北岡伸一
一橋大学名誉教授 野中郁次郎

◆定価2,200円(10%税込)



電子書籍

米中分断の虚実

デカップリングとサプライチェーンの政治経済分析

本当に起きていることは何か

相次いで追加されるバイデン政権の対中制裁。米中の経済戦争は高まるばかりなのか？日本企業はこの状況にどの様に対応するべきか？政治、経済、産業の有力研究者が一堂に会し、現状と対応策を解説。

宮本雄二／伊集院敦

日本経済研究センター編著 ◆定価3,080円(10%税込)



電子書籍

日本戦争経済史

戦費、通貨金融政策、国際比較

莫大な戦費はどのように調達・返済されたのか

戊辰戦争からシベリア出兵、太平洋戦争まで、戦前日本は戦時経済が常態化していた。本書は、膨大な戦費調達と返済の実態と財政金融政策の役割を初めて解説。知られざる近代日本の舞台裏を描く。

防衛省防衛研究所 特別研究官 小野圭司

◆定価4,950円(10%税込)



電子書籍

良いデジタル化 悪いデジタル化

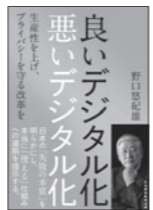
生産性を上げ、プライバシーを守る改革を

日本のデジタル化の失敗の本質は、社会や組織の仕組みにある

マイナンバーカードが国民管理の道具に使われることはないか？クラウドやブロックチェーンの導入、政府への国民の信頼が不可欠な理由を情報経済論の権威が語る。

一橋大学名誉教授 野口悠紀雄

◆定価1,760円(10%税込)



電子書籍

逆境の資本主義

格差、気候変動、そしてコロナ……

世界はまた、新たな試練を乗り越えようとしている

何が資本主義に起こっているのか。レイタリオ、アラン・ケリン・スパン、岩井克人など総勢34名の知性と、生活に苦しむ市井の人びとへの取材を通じて、問題の本質を明らかにし、未来探求に挑む。1年にわたる連載を書籍化。明日はどこにある――。

日本経済新聞社編

◆定価1,870円(10%税込)



電子書籍

バブルの経済理論

低金利、長期停滞、金融劣化

世界のバブルを分析、バブル経済の本質を歴史と理論から解明する

なぜ、バブルは繰り返して生じるのか？なぜ、バブルは成長を蝕む、経済の贈与化を促すのか？なぜ、金利の引き上げが成長回復のカギを握るのか？理論経済学者が、バブル経済のメカニズム、長期停滞、金融の劣化、財政の肥大化という経済の大問題を究明する。

慶應義塾大学経済学部教授 櫻川昌哉

◆定価4,950円(10%税込)



電子書籍

日本経済新聞出版

発行:日経BP 発売:日経BPマーケティング
https://nikkeibook.nikkeibp.co.jp

電子書籍 電子書籍でもお読みいただけます

【今月読みたい日経の経済書】